越谷市の胃がん検診をお受けになる皆様へ

— ペプシノゲン法・ピロリ菌抗体検査を受けましょう —

【この説明書をよくお読みのうえ、検診をお受けください】

越谷市では、胃がん検診をお受けになる皆さんのうち、節目となる年齢を迎えられた方（下記「対象となる方」をご覧ください）を対象として、ペプシノゲン法・ピロリ菌抗体検査（血液検査）を実施しています。

胃内視鏡検査や胃部エックス線検査を行うことにより、現在の胃の状態を正確に診断することはできますが、将来の予測は困難です。最近、血液検査でペプシノゲンの量とピロリ菌の有無を調べることにより、皆さんの胃粘膜の健康度をチェックすることができるようになりました。これを活用して、将来胃がんができやすい胃粘膜かどうかの危険度を[A群・B群・C群・D群]の4段階で判定します。

検査はご希望の方のみに行いますが、ご自身の胃粘膜の健康度を把握しておくために、ぜひ一度お受けになることをお勧めいたします。

なお、ペプシノゲン法・ピロリ菌抗体検査単独の受診はできません。

□ 対象となる方

胃がん検診受診者のうち、下記の年齢に該当する方

年齢	生年月日	年齢	生年月日
40歳	昭和60.4.1～昭和61.3.31生	45歳	昭和55.4.1～昭和56.3.31生
50歳	昭和50.4.1～昭和51.3.31生	55歳	昭和45.4.1～昭和46.3.31生
60歳	昭和40.4.1～昭和41.3.31生	65歳	昭和35.4.1～昭和36.3.31生
70歳	昭和30.4.1～昭和31.3.31生	75歳	昭和25.4.1～昭和26.3.31生

※下記に該当される方は、検査対象外となります。

- ・過去にペプシノゲン法・ピロリ菌抗体検査を受けたことがある方
- ・ピロリ菌除菌治療を受けたことがある方
- ・胃酸分泌抑制剤（プロトンポンプ阻害薬）を服用されている方
- ・腎不全の方、胃・十二指腸の手術歴のある方（粘膜切除術を除く）

不明な点は検診担当医にご確認ください。

□ 当日持参していただくもの

- ・検診費用 2,500円
- ・住所や年齢が確認できるもの（保険証等）

※次の方は無料になります。保険証、受給証等確認できるものをお持ちください。

- ①70歳以上の方（昭和30年3月31日以前に生まれた方）
 - ②65歳以上70歳未満で後期高齢者医療制度に加入されている方
 - ③生活保護世帯に属する方
 - ④中国残留邦人支援給付制度適用の方
 - ⑤市民税非課税世帯に属する方（同一世帯全員が非課税）
- ⑤の方のみ、事前に無料券の申請が必要です。（保健センター等で申請できます）

□ 結果について

結果は郵送されません。受診してから約1か月を目安に、受診した医療機関で医師から結果の説明を受けてください。

※下記に書き留めておき、忘れずに結果を聞きに行きましょう。

【検診日】 令和 年 月 日 【結果を聞きに行く日】 月 日
 (結果は約1か月後)

◆ ペプシノゲン法はこんな検査です ◆

胃粘膜で作られる血液中のペプシノゲン量を測定し、胃粘膜の健康度を調べます。ペプシノゲン法が陽性の場合、胃粘膜の萎縮・炎症が進行し、胃潰瘍やポリープ、胃がんなどが発生しやすい状態と考えられます。

◆ ピロリ菌抗体検査はこんな検査です ◆

血液中に含まれるピロリ菌抗体を測定し、胃の中にピロリ菌が存在しているのかどうかを調べる検査です。抗体が一定量以上ある場合には陽性となり、ピロリ菌に感染している、あるいは過去に感染していたと考えられます。

◆ ピロリ菌ってなに? ◆

人間の胃の中に住む細菌です。幼少時に感染し、慢性的に感染が持続して胃の老化現象である萎縮性胃炎を引き起こします。さらに胃潰瘍や胃がんの発生と深いかわりのあることが明らかになっています。

《ペプシノゲン法・ピロリ菌抗体検査の結果の見方》

区分	A群	B群	C群	D群
ペプシノゲン法 (胃粘膜萎縮度)	陰性	陰性	陽性	陽性
ピロリ菌抗体検査 (ピロリ菌感染の有無)	陰性	陽性	陽性	陰性
	↓	↓	↓	↓
胃がん発生の危険度	非常に低い	中等度	高い	非常に高い

※検査結果（精密検査結果を含む）につきましては、個人情報保護の万全を期して、統計処理等に活用させていただきますので、ご了承ください。

【お問合せ】
 健康づくり推進課（越谷市保健センター） 越谷市東越谷10-31
 ☎048-960-1100